

2023年 第17回 ボランティア学生交流会 活動報告

日時：1月22日(月)13:15~14:15

場所：全保連ステーション周辺

テーマ：アイマスク体験会

車いす体験会、手話体験会に引き続き、アイマスク体験会を実施しました。アイマスクを装着し、白杖で障害物の有無を確認しながら、介助者と共に校内を歩きました。日常生活において、人は約80%の情報を視覚から得ていると言われていたのですが、普段歩き慣れている道がイメージできずと体験の効果が薄れてしまうため、コースはシークレットコース!安全に配慮しながら実施しました。介助者は、視覚障がい者の立場に立って、状況をわかりやすく伝えられるような配慮を心がけました。また、触覚で判別できるユニバーサルデザインが施された日用品についても学びました。

ご自宅にある食品用ラップフィルムや調味料、アルコール飲料缶など、どのようなユニバーサルデザインが施されているか、皆さんもぜひ確認してみてください。



手引き歩行



手引き歩行



段差の体験



ユニバーサルデザイン

参加した学生の感想

- アイマスクを着用して歩くことと介助者の両方を体験させて頂いたので、効果的な声掛けやサポートの仕方を学べた貴重な機会でした。ありがとうございました。
- 風が強いと音の情報が地面の様子が分かりやすくなる反面、人の声の情報が受け取りづらくなると知りました。また、方角の情報伝達と授受についても時計の針と位置を結びつけるアイデアが実用的に感じました。定規などの道具にも触れさせてもらって有意義な時間を過ごすことができました。
- 階段を下りる動作や、普通に歩くという動きがどれ程視覚に頼っているのかを理解できた。点字ブロックの重要性も理解できた。
- アイマスク体験をしたのは初めてだったので、「目が見えない」という状況で道路を歩くのは怖さがあると感じました。普段何気なく歩いている道も、アイマスクをしていると歩くのに時間がかかり、まっすぐに歩くことができなかつたことに驚きました。また、目が見えない人の介助方法も併せて学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。

次回のボランティア交流会は、3月頃開催予定。内容は現在計画中です！
ボランティア学生として登録すると、イベント開催時に案内メールをお送りします。

ボランティア学生登録はこちらから → →



みなさまのご参加、お待ちしております^^